



# きぼうのいずみ

蘇原第二小学校  
学校だより  
第7号  
令和5年10月18日

後期がスタートしました！ 10月12日 後期始業式

前期の6つのたからもの

- ①人の話をだまって最後まで聞けるようになってきたこと②自分の意見を進んで言えるようになってきたこと
- ③蘇二っ子学習ノート（自主学习ノート）全校で140冊終了したこと④まごころそうじができるようになってきたこと
- ⑤全校「良いことみつけ」1, 839枚がポストに入れられたこと⑥ボランティア50回を209人が達成できたこと

後期始業式では、前期頑張った6つのたからものについて、さらに大きなたからものにしていこうと話しました。

蘇二小の今年度の合言葉は、「つながる蘇二っ子」です。出会ったときに自分から相手にあいさつをすることや休み時間や活動などで相手のことを考えて行動すること、また、掃除時間に周りのことを考えてきれいにするなど、友達とのつながりをつくることは、今期も大切にしていきたいです。

学習の中では、子ども達に話すことや聞くことの力を付けていきたいと思っています。話し手の話を最後まで聞き、それに対して自分の意見を言うことは、思考力や判断力、表現力を高めることにつながっていきます。そんなつながる学習を意識してがんばっていきましょうと話しました。

最後に地域の方とたくさんつながるように、学校内だけでなく、見まもり隊の方や旗当番の方などに自分からあいさつができるように励ましました。ご家庭でも、お子さんを励ましていただけると有難いです。



## 5年生「味覚の授業」体験

「味覚の授業」とは、料理人、パティシエ、生産者らがボランティアで、全国の小学生を対象に、味の基本となる4味（「塩味」「酸味」「苦味」「甘味」）に加え、第5の味覚である「うまみ」について教え、味覚を意識させ、食の楽しみを学ばせる授業です。

本校は、昨年度から本校の卒業生で、ビストロ シェフ ルミエールのオーナー 田中 剛シェフが5年生に「味覚の授業」をしてくださっています。

授業で子ども達は、実際に「塩味」「酸味」「苦味」「甘味」の調味料や「うまみ」のだしを食べ、どんな味がするのか、その味がする食べ物は何かなど楽しみながら学んでいました。また、最後にはシェフ手作りの「パンナコッタ」を味わうこともでき、プロの味に感動していました。



## 「うなぎとふれあい」体験

13日（金）に地域のシニアクラブの前田さんと富田さんが、近くの川で獲れた「うなぎ」を2匹持って来られ、子ども達に「うなぎふれあい」体験させていただきました。

給食時の放送で、「うなぎとふれあい」体験の案内をしたところ、体験したい子が100人程集まり、うなぎを初めて触ることにわくわくドキドキしながら自分の順番が来るのを待っていました。

子ども達は実際にうなぎを触りながら、「わあ～すごい。」「ぬるぬるしてるね。」「おもしろい。」と大喜びでした。

